



FIDIC Newsletter JULY 2013 抄訳

訳責:国際活動委員会 CB 分科会

この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

1 Global Representation 世界の協会活動

1-1 World Bank and IDB Visits

世界銀行と米州開発銀行への訪問

4月にワシントンで開催された ACEC の年次大会に併せて、FIDIC 代表団 (Geoff French 会長、Elect Pablo Bueno 次期会長、Enrico Vink 専務理事、及び Aisha Nadar MDB 特別顧問) が世界銀行及び米州開発銀行との重要な会議を開催した。主要な議題は、世界銀行の調達システムに関する最新のレビューであり、プロジェクトの計画及び設計における持続可能原則への強い関心、及び汚職撲滅に関する最新情報に関するものである。本会議において、新しい FIDIC 代理人契約書 (Purple Book 本ニュースの 2-5 参照) に対する世界銀行の支持が歓迎された。



FIDIC は、世界銀行の調達方針及び手続きの抜本的な見直しに関する中心的な役割を果たしている。この取り組みの初期から、世界銀行は持続可能性原則、公正及びライフサイクルコストの重要性を、調達プロセスにおける不可欠な要素として真剣に検討を重ねてきた。この明確な変化は、銀行が融資するプロジェクトにおけるコンサルティング・エンジニアの役割に限らず、その他の融資機関へも大きな影響をもたらすであろう。詳細な情報は世界銀行または FIDIC のウェブサイトより入手可能である。

ACEC 国際委員会との議論は、世界のインフラ市場、及び国際プロジェクトに影響する米国企業の関心の高まりに着目した。FIDIC 会長の、イギリスにおける ACE100 周年記念イベントへの参加も、国際市場の注目を浴びる事となった。

1-2 Sustainable Infrastructure Feature of Africa Conference

アフリカ会議における持続可能インフラの特徴

15 カ国から 300 余りの代表団が参加した GAMA/FIDIC アフリカ会議は、2013 年 4 月 7 ~ 10 日にスーダンのハルツームで初めて開催され、成功裏にその幕を閉じた。

今年の会議において、代表団はアフリカの企業の重要な役割と、インフラネットワークの開発に対する持続可能性の観点から見たコンサルティング・エンジニアの貢献について議論した。広大なスーダンにおける物理的及び社会的環境の多様性は、アフリカにおける持続可能なインフラ開発の最良な事例の 1 つであった。国際的な協力の事例の紹介は参加者に温かく迎えられ、アフリカ開発銀行から積極的な援助の提供に関する申し出があった。



FIDIC からは、Geoff French 会長、Exaud Mushi 理事、及び Enrico Vink 専務理事が代表団として出席した。

1-3 Libya Reconstruction supported by FIDIC

リビア復興における FIDIC の援助

トリポリのフランス大使館が襲撃された翌日の 4 月 24 日に、FIDIC の第 2 回リビア・ビジネス・デイが開催され、リビア復興に関心を抱く官民の産業部門が参加した。160 人以上の専門家が、調達に関する成功事例及び契約管理について議論を交わした。副大統領の Awad Barasi 博士はリビアのインフラ整備において重要なツールになると考えられる FIDIC の契約約款を支持しており、また FIDIC100 周年記念会議に基調講演者として出席することに同意した。



1-4 Baltic/Scandinavian Collaboration Strong

バルト諸国とスカンジナビア諸国の連携強化

5 月下旬、エストニアのリーガで地域部会が開催され、成功裡に終わった。主に「調達に関する成功事例」を中心として議論がなされ、なかでも「コンサルタント選定に影響を与える要因」に主眼が置かれた。

地域別翻訳版の奏功により、バルト諸国では FIDIC 約款の使用が浸透してきている。一方、スカンジナビア諸国では、FIDIC 約款はバルト諸国ほど使用されていないものの、中央ヨーロッパおよび東欧で事業を展開している企業による使用実績が強調された。FIDIC 理事会のメンバーである Kaj Möller 氏によれば、現在は多くの顧客が、特に成長戦略として国際展開を視野にいれている企業が FIDIC 約款の使用を検討している、ということである。またこの地域では、多くの人材が FIDIC レギュラートレーニングコースにへ参加している。EFCA の事務局長 Jan Van der Putten 氏は聴講者に対し、EU における各機関に対する広報活動の進展を周知させた。

1-5 News from the Executive

理事からのお知らせ

2013 年 5 月にオタワで行われた FIDIC 理事会において、下記事項が承認された。

1. 2014 年度は、FIDIC 全会員に対して、10%の会費を減額する。この決定は会費に関する検討を行う FIDIC タスクグループからの助言にもとづくもので、現在いくつかの国及び地域が抱える財政難に対応するためである。
2. 地域トレーナーの十分な普及を確保するため、すべての地域で国際資格認定プログラムを提供する。
3. ウェブサイト上に FIDIC リソースプラットフォームを開設し、新しい製品やサービスの関連情報を提供することにより、FIDIC ワーキンググループの活動をサポートする。
4. FIDIC 理事の欠員(3 名分)に対して、6 名の有力候補者を発表する。候補者の出身地はそれぞれインド、インドネシア、モロッコ、メキシコ、スリランカおよびアメリカ合衆国である。なお選考結果は 2013 年 9 月 18 日にバルセロナで開催される FIDIC 総会にて発表する。



1-6 FEPAC Meetings in Portugal

ポルトガル FEPAC 会議

FIDIC 次期会長の Pablo Bueno 氏と副理事の Italo Goyzueta 氏は、2013 年 4 月 5 日、6 日にリスボンで開催された中南米アメリカコンサルティング・エンジニア連合 (FEPAC) の理事会と総会に出席した。両会合には、FIDIC の会員協会からブラジル、コロンビア、メキシコ、ペルー、ポルトガル、スペインの国々が参加し、そこで同理事会はペルー・リマの常設事務局の開設を承認した。また、新事務局長として Valeria Leveratto 氏が選



任された。彼女は、2013 年 5 月から FEPAC の運営に携わってきた。FEPAC 会員代表団は、バルセロナで開催される FIDIC100 周年大会に参加し、FIDIC ビジネスデーの 9 月 18 日(水)に行われる地域市場概観 (Regional Market Overviews) において、セッションを開催する予定である。

1-7 EFCA/FIDIC Collaboration Enhanced

EFCA/FIDIC の協調強化

5 月の総会にて、ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (EFCA) は、FIDIC との協力協定改定案をまとめた。その改定案は、EFCA 側から、欧州委員会に関わる、その推進的立場により明確な焦点をあて、危機管理や持続可能な開発などの特定の共同活動を通じたヨーロッパの CE 業界に対する代表的立場の強化を目指すものである。デンマークの前 FIDIC 理事 Flemming Pedersen 氏が EFCA の次期会長に選ばれたことは、CE 業界全体の密接なつながりを示している。EFCA はまた、FIDIC バルセロナ大会でヨーロッパ市場の地域的概観を提供することになっている。



2 Best Practice, Contracts and Publications ベストプラクティス、契約と刊行物

2-1 Centenary Limited Edition: The Contract Collection + Collector Box

100 周年記念限定版: 契約約款集 + コレクターボックス

FIDIC100 周年 (1913-2013) を記念し、FIDIC の 3 つの代表的な契約ガイド付き契約条件書を初めてコレクターボックスとして一つにまとめた。金額を抑えるため、この特別限定版は印刷版のみで、これで標準的な FIDIC レインボーパッケージ、レッドブック、イエローブックそしてシルバークとそれらの解説書が揃うことになる。



100 周年記念限定版 FIDIC 契約約款集の内容:

- 建設工事の契約条件書 第 1 版.1999 : 発注者の設計による建築ならびに建設工事 (Red Book)
- プラント及び設計施工の契約条件書 第 1 版.1999 : 請負者の設計による機電プラント、建築並びに建設工事 (Yellow Book)
- EPC/ターンキー工事の契約条件書 第 1 版.1999 (Silver Book)
- FIDIC 契約ガイド- 建設工事の契約条件書、プラントおよび設計施工の契約条件書、EPC/ターンキープロジェクトの契約条件書 第 1 版.1999 (Contract Guide)
- コレクターボックス (専用ケース)

2-2 Survey highlights significance of Consulting Industry

調査の結果、コンサルティング業界の重要性が鮮明に

FIDIC と EFCA (当初段階では、27 の EU 加盟国を対象とした) 用に取り纏められた、この史上初の知識集約型サービス業に関する包括的調査の結果は、CE 業界のサービスの価値だけでなく、社会資本への投資に対するインパクトについても際立たせた。

ヨーロッパでのエンジニアリングまたは関連+サービスに対する需要と供給は現在 3,600 億ユーロと見積もられている。これは、およそ 4 兆ユーロの 2012 年の国際投資の中から活用されている。この平均 8.3% の割合は近年若干変化しており、他の市場から推測することができる。現在 FIDIC はこの調査を世界的に拡大させることを検討している。これは、将来的な建築や業界資産への投資に繋がるなど、コンサルティング業界へのより強

力な支援のための国内ロビー活動を強化させる可能性を持っている。

2-3 FIDIC sustainability Pack 2013

FIDIC sustainability Pack 2013

世界銀行や UNEP, ISO, EU といった国際機関とのパートナーシップを含む過去の経験を基に作成された, 3 編の付加出版物から構成される, 新しい FIDIC sustainability Pack が, 2013 年 9 月に開催される FIDIC100 周年大会にて発行される。

このパックは, 社会的課題白書の「Rethink Cities」, 持続可能な共同研究に携わるオーナーとその協力者のサポートをするためのツールである「PSL®2013」, コンサルタント技術者の業務における主要な持続可能性の実課題に関するガイドラインおよびマニュアルである「PSM II」で構成されている。

2-4 Translation of Forms of Contract

契約書式の翻訳

新訳の継続的発展により, FIDIC 契約約款は地域経済の中で参考書として多く利用されている。アラビア語に関しては, 発注者/コンサルタントモデルサービス契約書(4th Ed, 白書, 2006)および短形式契約約款(1st Ed, グリーンブック, 1999)の翻訳更新とともに普及し続けている。

クロアチア語においては, 現在, クロアチア語版のプラントおよび DBO(1st Ed, イエローブック, 1990)だけでなく, 更新版の建築契約(1st Ed, レッドブック, 1999)も存在する。上記図書は我々のブックショップで入手することができる。



2-5 Launch of Model Representative Agreement 1st Edition (2013)

代理契約書(Purple Book) 第1版 2013年 発売

新しい「代理契約書(Purple Book) 第1版 2013年」は, 専門的なサービスの提供のために, 代表者または代理人との契約を締結することを希望するコンサルタントを対象としている。FIDIC 契約約款の最新の追加内容は, 汚職リスクを軽減させるため, 国際開発金融機関の要件と一致するよう入念に合わせた。

カナダでの ACEC 年次会議に間に合うように発売された, この「代理契約書」と「FIDIC の公正管理のガイドライン」は, 業界を襲った最近のスキャンダル後に大ヒットとなった。

深刻な洪水被害が発生したにもかかわらず, カナダでの ACEC 会議は, 俄作りのプログラムのなか, 出席者と発注者は関係を強化しサービスの質を向上させる観点から意見交換を行い, 強い支持を受けた。FIDIC による強力なサポートが行われたことは, 出席者である Chris Newcomb 氏, Jae-Wan Lee 氏, FIDIC 専務理事の Enrico Vink 氏を通じて明らかになった。



[AJCE 事務局] 本書は AJCE でも販売しております[AJCE コード AG-6-2]。詳細は AJCE 事務局 (03-3839-8471) へお問合せください。

3 Training & Capacity Building 訓練と能力開発

3-1 FIDIC Regional Users Conference, Malaysia

FIDIC 地域ユーザー会議(マレーシア)

2013 年 6 月 11 日から 12 日にかけて、クアラルンプールにて第 5 回 FIDIC アジア太平洋ユーザー会議が開催された。マレーシア企業のサポートを受け、本会議では 140 名を超える参加者および発表者を迎えることが出来た。



まず FIDIC 契約約款に関する最新のアップデート更新状況について契約委員会メンバーおよび専門家からプレゼンテーションがあった。ここでは、2015 年のアジア一般市場公開に向けた準備やインフラ投資の著しい増加など、地域が現在直面している課題に沿った議論が展開された。我々コンサルティング業界としても、これらの機会を最大限に活かすようなポジショニングを期待されていると言えよう。

3-2 FIDIC Americas Users Conference, Washington DC

FIDIC 米州ユーザー会議(ワシントンDC)

2013 年 10 月 22 日から 23 日にかけて、ワシントンDCにて第 2 回 FIDIC 米州ユーザー会議の開催を予定している。これは、地域の業界関係者が、国際的な場面で一連の FIDIC 契約約款をよりよく理解し上手に使いこなす上で必要不可欠な FIDIC のイベントである。特にこの会議では、当局から FIDIC 契約約款の国際的な適用に焦点をあて話題提供いただくとともに、ワシントン拠点とするいくつかの国際開発金融機関の特別参加を仰ぐ予定である。

3-3 Russia set to expand FIDIC interests

FIDIC による利益の拡大に取り組むロシア

昨年のロシア訪問は成功裏に終わったが、そのフォローアップとして、FIDIC は 2013 年 10 月にモスクワでのビジネスデイ平日開催を企画している。目的は、ロシア市場の発展を概観し、建設セクターにおける国際的なコラボレーションの可能性を提供することで、官および民の利益をタイアップする官・民連携による利益向上を図ることである。参加に関心の高い企業は、FIDIC にコンタクトを取ってほしい。

3-4 Success for FIDIC / ICC conference in Paris

パリでの FIDIC/ICC 会議の成功に添えて

6 月 25・26 日、ICC と FIDIC は年次合同会議をパリで開催した。議論の多くが調停または裁定に関するもの(後者は、主に FIDIC 契約約款においては紛争委員会が関与する)であり、数々の場面で調停が行われた。160 を超える代表者が調停サービスを主流化することによる恩恵について議論を行った。



3-5 Expansion of FIDIC training continues:

FIDIC トレーニングの拡充続く

初めての FIDIC オンライン契約トレーニングは、参加者の極めて積極的な議論を持って終了した。このトレーニングコースは高い参加率であった。市場からの関心の表れは、さらに先の 2014 年オンライントレーニングコースを計画する FIDIC の励みになっている。新規のコースに関する情報は、2013 年後半に <http://fidic.org/events> に掲載予定である。



現在、FIDIC 協会やアフリカ、中東諸国、西ヨーロッパ、中東ヨーロッパ、アジア、南米のいくつかの地域の地

元協力者とともに、2013 年下半期における約 25 のイベントが計画されている。夏には 2013 年の第 4 四半期における他のイベントを発表する予定である。詳細は、FIDIC ウェブサイトを閲覧のこと。

3-6 Training develops in Africa

アフリカでのトレーニング開発

FIDIC アフリカ事務所では、タンザニア、モーリシャス、ルワンダ及びセネガルで開催するイベントの調整を行っている。協調したトレーニングプログラムの開発及びアフリカ(ジンバブエ、マラウィー、モザンビーク、カメルーン、セネガル及びその他)における FIDIC の存在感の拡大のため、会員国及び非会員国からの連絡が盛んになっている。参加希望もしくは新たに連絡を取りたい企業は、FIDIC に問い合わせされたい。



3-7 FIDIC Webinar Survey Exploring YP Needs

若手専門家ニーズを知る、FIDIC のウェブ調査

コンサルタント業界の将来のリーダーとなる若手専門家にとって何が大事であるのかを判断し、特定するために、サポートが行われている。取り扱われる課題は、訓練と教育、マネジメントの課題、労働環境、財政的支援に及んでいる。近い将来に予見される世界規模での技量不足のため、CE 業界の政策や経過の進行中に若手専門家が関与していることが必要不可欠である。

3-8 Regional YP Forums

地域 YP フォーラム

国際的に若手専門家が躍進するための支援が増加したことにより、地域レベルのネットワークを強化するための地域フォーラム設立が合意された。このことでアジアおよびアフリカのサブグループの設立がもたらされ、ヨーロッパの YP ネットワークの支援のために ECFA との連携が強化された。各国の協会がその国の YP フォーラムを設立する際の方法および専門家および会社の発展に関連する活動について提示した新たな指針が出版された。

3-8 Trainer Assessment

指導者の評価

FIDIC は、2013 年中には、指導者の評価を行わないことを決定した。そのかわりに、FIDIC は、まずアフリカで実行すべき指導者教育プログラムを策定しているところである。このプログラムが成功すれば、評価するよりも指導者に対象を広げたトレーニングを求める他の地域への適用が可能となる。

4. Centenary Conference 100 周年記念大会

4-1 Strong interest in FIDIC Centenary Conference in Barcelona, Spain

スペイン国、バルセロナで開催される FIDIC100 周年記念大会への大いなる関心

スペインで行われる FIDIC100 周年記念大会において、発表者が業界内の様々な分野から横断的に選出されたことは大変意味のあることである。多くの参加者の中、Mckinsey、Ramboll、Siemens、AECOM、Stanley Consultants、Transparency International、UNEP、Engineers Without Borders、Union Internationale des Architectes などの企業からの参加を FIDIC は喜んで歓迎する。活発な議事内容の詳細は、FIDIC 会議 WEB サイトにて閲覧することができる。



バルセロナのこのユニークな企画の開催期間中、特別な社交行事も開催されることになる。いくつかのハイライトが用意されており、その中には、ポブレ・エスパニョーラ修道院で開催されるローカルカラーナイトも含まれている。伝統的なスペイン料理を楽しんだ後は、参加者たちは一つの会場内を歩きながら様々なスペインの地域文化に触れることができる。会議の内容については、www.fidic2013.org へアクセスされたい。

新しくなった大会のユニークな見物は、FIDIC ビジネスディであり、ここでは、代表者、ゲストやビジターに、コンサルティング業界とインフラへの投資と関連がある特定の事業利益追求のための幅広い選択肢が提案される。パネルディスカッションと特別プレゼンテーションは、プロジェクト財務、契約の行使、調達の改善、持続可能な社会基盤、腐敗対策における最新の動向を引き出すであろう。数冊の新しい FIDIC 出版物がその時までに出版され、FIDIC ビジネスディの参加者たちに配布されるだろう。

4-2 FIDIC Centenary Awards Update

FIDIC100 周年記念賞に関する最新情報

FIDIC Centenary Awards FIDIC100 周年記念賞とは、FIDIC 設立 100 周年を記念して実施している。審査チーム (Eigel Pedersen 元会長、Richard Kell 元会長、Jorge Díaz Padilla 元会長、及びゲスト審査員 Benedetta Tagliabue 氏) によって、前世紀からの 100 以上のプロジェクトが審査対象として評価されている (9 月 17 日にバルセロナでのガラディナーで発表される結果も含む)。



社会の生活向上のために、時間、資源そしてデザインの使い方において目覚ましい変化を作り出してきたこの 100 年間に、エンジニアリング、若しくはコンサルティングの方法が画期的にブレークスルーしたことを FIDIC は公的に表明するつもりである。

以上